夕刊
磐城新聞
六月二十七日發行
定價（郵稅拾五錢）
一部金五拾錢
一ケ月金六拾五錢
廣告（日刊）
一行金拾錢
（週刊）
一行金九拾錢
（日刊）
五號活字一行
（週刊）
一字詰
一行
一段
一回
金六拾錢
金九拾錢
金拾錢
（日曜祭日翌日休刊）
發行所　磐城新聞社
福島縣磐城郡平町
電話五六四番
編輯兼印刷人　柏木哲夫
福島縣磐城郡平町
昭和十六年地方第三種郵便物認可

『愛の墳墓』評（上）

島田忠夫

○

小名濱の源葉ゆきじ君が私の心のうたを歌ふことから、その近著自選小曲詩集『愛の墳墓』を贈られた。これは著者が『いはらき』新聞に紹介して欲しいと云ふ意でもあつたが、小名濱の詩人の詩集であるから、『磐城新聞』紙上に載する方が適全鑑が、拙ない歌の一つ一切であらう。そこで予は先づ茲に短評の筆をとり、後ち『いはらき』にも筆をとる積りである。

○

寄贈うけたのは先月末であつて、直ちに一通り目を通した。しかるに、予自身の第二童謡集出版のことがあり、遂ひに今まで責を果せずにゐた。もつと正直に云へば、この詩の領域では予などよりしつかりした頭の持主が、平町近郊にも尠くない。中野勇雄、石川武夫君等がそれであり、予の盲評などは却つて一笑を買ふに過ぎぬかも知れぬ。そこで、こゝには二三の作詩をひき、略記するに止める。

○

『愛の墳墓』は、かなり長年に亘る、しかも多數の詩をあつめてゐる。著者は『はしがきにかへて』として、左の如く記されてゐる。

はしがきにかへて

あてどなく彷徨つて來た前半生を靜かにふりかへつて見る時、たゞ一つの命さへ委ねて、分け入るべき道さへも知らぬ詩の國を憧憬てゐた私自身を見出だすのです。一九二〇年から——三一年までの永い間。

いつたい誰が私のわびしい人生にうたふことを敎へてくれたでせう？淋しさにつけ、悲しさにつけ、私は私の心のうたを歌ふことによつて、どんなに慰められかが知れません。

それはむなしく散りしいたかづ〳〵の花瓣であつたとしても、嘗ては私の全身全靈が、拙ない歌の一つ一つに感激となり、熱情となつて打込まれてゐたことを思ふとき、嬰ては一片の煙りとなるであらうとも、たやすく棄て去つてしまふにはあまりに忍びえない憾みがありました。

こゝにおさめた百篇の詩は、さうしたものの中から拾ひ纂めたものでせめては若き日の夢に咲いた花の記念なのです。

あまりに貧しいものではあるでせうけれど、御笑覽下すつた上御批判していただければ、これからの私をどんなにか幸福にして下さるだらうと疑ひません。

昭和七年三月　若葉ゆきじ

○

これによつても、いかに長い間の精進による作かといふことが知れるであらう。試みに二三作を拔く

影繪

花かげの風のやうに
戀は惱ましく
狂ひ咲き　亂れ咲き
千々なる想ひ
苦しき心よ
夕暮れの風のやうに
戀は寂しよ
一つ星　流れ星
とどかぬ想ひ
悲しき心よ
そらかける風のやうに
戀は夢なし
月影か　誰が影か
はてなき想ひ
くづれし心よ。

○

かなしき戀人
永劫秘めておくことは
神の心に叛くでせうか——
かなしきひとよ
愛の小塔は
くづれたまゝにあるものを。

思ひの唄

川口政子

○神かけて必ずこころ離れじと誓ひしはたれ破りしはたれ
○いきてさへ居れば勝てると言ひし君の涙にぬれしひとみ忘れず
○逝きし人の還り來む日を待つに似しはかなきのぞみ今も捨てず
○此の夏を君と双葉の川口に行かむと云ひしことも忘れず
○酒飲めば悲しくも又酔ひしれて泣きて我が名を呼ぶと聞く君

學藝消息

詩南軍第廿七輯　編輯は片寄、白木、來月十五日發行と決定、原稿〆切は來る三十日で一般の投稿を歡迎するとの

△姉川の戰（元龜元）9—28
△行政裁判所法發布（明治二三）6—一
△墺洪國皇儲暗殺され世界大戰起る（大正三）△大日本共產黨（わが國最初の國粹勞働黨）結黨式△濱口首相再入院より退院（昭和六）

〈社會の今日〉

○

何も彼も疲れたやうに引越の、車後押す街は坂道　梁川宗之助

支那の戰に何の關りあるものか宿醉のコック芋の皮をむく　川崎むつを

時代警句

○山に躑躅かずして垣に躑躅……（韓非子）

山は大なり故に人之を慎み垣は微小なる故に人之を侮ると、之れ人たる事より却つて小なりと侮る故に思はぬ失敗を招くことがある、世には斯かる有り得べからざる事多きは之何等の爲ぞ……

文藝漫筆

伊納川銀

（1）

途中漫筆とやら、餘り長くなつてあきられてきたやうだし、小野氏とやらまさか磐城新聞の社長でもあるまいがどうやら天保時代の色男でもあるやうだし、僕なんかは小野君の生硬な漢文を讀みその認識不足と封建的なヒロイズムとを押しつけられて呆れる位なら白木英尾君の才文の方がどれほど面白いか判りやしないそれはさて置き漫筆は漫筆でも漫筆らしく書かう。

（2）

高橋掬太郎と言ふひとがある。こゝ言へば、あゝあのと直ぐ感づく人があるだらう。その哀傷性と蒼白き沒落性との故に、インテリ層をはじめあらゆる青年子女の第三期資本主義に對する漠然たる不安と懊惱に喰ひ入つた。『酒は涙か溜息か』『私此の頃憂鬱よ』の作詞であるが（最もこれがもてたのは古賀政男君の作曲のためだと思ふが）この高橋君が『日刊大仙臺』と言ふ仙臺の新聞に『嘆きのコーラス』と言ふのを連載してゐる。そしてその主題歌が『あたし此の頃憂鬱よ』だから面白いゞまだのせ始めてから十日だからどんなのだが判らないし、又此の新聞がいつ頃からあるのか判らないが、とに角此うした點にジャーナリズムの變化と地方市の文化と地方民の生活形態が比較されて面白いと思ふ。僕なんかから言はせればいつまでも磐城新聞が講談でもあるまいと思つてゐる。と言つて僕は講談の持つ味（そうだ、たしかに味以外の何物でもない）を時代遅れと言ふ名でかの故にうなづけたのだが嘆きの合唱に見る表現は餘のやうに、ばた〳〵と狼狽り書いたことがないのか冗漫の嫌ひが無いでもない。それに内容が失戀でありカフェーであり不良である時孫でござるぞ』

と罵り返す

『アハヽヽ、又しても系圖の聲が懸つた

瀨田も平山も現在町奉行所に勤めてゐる官吏である平山は年寄同心で瀨田は與力、警部と巡査部長ほどの差がある、それでゐて仲が悪い始終角突合をしてゐた、大鹽は二人の性格の長短をよく知り拔いて瀨田は

『アハヽヽ、お待ち召されッ！』

其の時、突如として大鹽の聲が懸つた

公のやうな子孫を持たれて

その感傷性を統整した表現は定めし地下に嬉し泣きをされたであらう、成程身共は臆病者似而非學者かも知れぬ、さりながら物本末あり、事終始あり、是程の大事を企てるに際して壁に馬の耳かぬ氣の正直な男、平山の情感的な、それでゐて近を乘りかけるやうな輕擧妄動は相成り申さぬ、謀は密代的なスタイルは嫌味でなく僕等を泣かしてくれたが

『あいや、お待ち召されッ！』

に依つて市中を……』

次郎不肖ながら鎌倉公の末

灰吹きの上へ乘せた亀の子かそう、來る二月此度町奉行に仰つけられた堀伊賀が故參奉行の案内

藤千代子

△正午A　時報
△後〇・〇五　落語（寢床）
雷門助六
△〇、四〇A　ニュース　氣象
△二、〇〇A　家庭大學講座（俳句と云ふものの概念）
高濱虛子
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△五、三五　講演（青少年と實業補習教育）仙臺市學務課長池田菊右衛門
△六、〇〇（子供の時間）山形縣東根尋常高等小學校兒童
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△六、三〇A　英語講座（中等科）久野朔郎
△七、三〇A　琵琶（白虎隊）畑錦成
△八、〇〇B　長唄名曲定期演奏
△八、三〇A　ラヂオドラマ（闘牛）ルドルフ、レオハルト…作　東京演劇集團文藝部譯
△九、三〇A　時報
△九、三一A　奉天より嫁第一の女…關綾子　第二の女…高木富子
△九、四五A　ニュース　氣象　生藺相場

日用品値段

△一〇、三〇A　家庭講座（夏のお化粧と着付け）遠藤千代子
△正午A　時報
△後〇・〇五　落語（寢床）
雷門助六
△〇、四〇A　ニュース　氣象
△二、〇〇A　家庭大學講座（俳句と云ふものの概念）
高濱虛子
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△五、三五　講演（青少年と實業補習教育）仙臺市學務課長池田菊右衛門
△六、〇〇（子供の時間）山形縣東根尋常高等小學校兒童
△六、二〇A　コドモの新聞
△六、二五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△六、三〇A　英語講座（中等科）久野朔郎
△七、三〇A　琵琶（白虎隊）畑錦成
△八、〇〇B　長唄名曲定期演奏
△八、三〇A　ラヂオドラマ（闘牛）ルドルフ、レオハルト…作　東京演劇集團文藝部譯
△九、三〇A　時報
△九、三一A　奉天より嫁第一の女…關綾子　第二の女…高木富子
△九、四五A　ニュース　氣象　生藺相場

講談

お蘭陀お蝶

（66）

渡邊默禪作
布施長春畫

怒號するのが例の平山助次郎であつた

『おゝ誰かと思つたら平山氏か、お屠蘇の故でか、大分お鼻が荒うござる、貴公は猪年の生れぢやそうな猪ならば無理もない事ぢやが此處を半畑と間違へては困る、ちとおたしなみなされ』

先輩の瀨田濟之助が聞きかねてかちよいと冷笑してやると平山はむつとして

『何ぢや、猪ぢや？むゝいかにも拙者は猪武士でござる、進むことは存じ居るが退くことは一向に承知いたさず、只敵を挫き勝を制するのみを武士の本分と心得てゐるそれが何で悪い、如何なればたしなめと仰せあり事で天下を相手の大仕事が上の武術壁の上の水練を知るものか宿醉のコック芋の皮をむく　川崎むつを

『参らぬとな、何時まで待つたら参るのぢや』

『さあそれは！』

『ソレ見しやつしやれ成案もないではござらぬか、彼岸過ぎての麥肥料、喧嘩はてゐるそれが何で悪い、如ての千切木、アッハッハヽヽ、莫迦々々しい左樣な事で天下を相手の大仕事が

『默れ、成案が立たずに一人でぐだぐだ白木君なんか書けつたが振り、いざとなると言葉はちとお控へなされ』

『ソレそれが姑息ぢやと言ふのぢや籔醫者の七味調合蛞蝓の廻國、のんべんだらりとしてゐる中には可惜時機を失して了ふわ』

『いや〳〵爾うではない、まだ〳〵乘ずべき機會が參らぬ』

反對に〳〵と競爭させては之を裏表兩面に利用して町奉行の消息を内通させ或一大計劃の材料にしたのだ。

今二人が眞赤になつて激論し合ふのを默つて聞いてゐたが、瀨田が平山に釣出されてうつかり秘密をしやべり出そうとしたので大鹽はつとそれを制して咳ばらひをしつゝ扇子を把つて膝を進めた。

ラヂオ
…二十八日（火曜）…
仙臺　JOHK
△前六、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立（サラドニ種）小野やす子

舊五月　庚申　大安　滿　火曜
新六月二十八日　翼宿　日

東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神戒館
（東京市本郷區湯島四丁目五番地）
諸判定應需
▲一白の人　幸運には惡まるも華美けうしやはつつしむべし▲二黑の人　辛抱甲ひの現はるる日盜難遺失病氣に注意▲三碧の人

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關内藥局
電話四〇番

吉田眼科病院
平町紺屋町

平町田町
井坂醫院
電話　五五九番

廣告

無効返金
説明治療書進呈
別府市鶴水園
岩里天然堂製藥所
本店
藥急
優性
個人用
黑赤
送料前金
代金引換
海外九十錢
特約店

石城郡平町古鍛冶町　阿康藥店
同三丁目三八　渡邊イトキモト藥局
福島市荒町　澁谷商店
同置賜町三八　土屋藥舗
同五日町二一　中村印刷所
若松市七日町一　松下藥店
同桑町一丁目　西澤商店
南會津郡田島町　黑川商店
伊達郡保原町　熊良藥店
同深川町　中村順庄堂藥店
相馬郡中村町大町　丸山藥店
同鹿島町八八　木村商店藥品部
西白河郡白河大工町新地通　白井金銀細工店
岩瀨郡須賀川町宮崎町　高松藥舗
同須賀川驛通　救生藥堂

肺。肋膜。心臟全治の早道
マムシ藥益々好評
◎マムシ藥發賣以來服用者は約貳百人食慾の出る事、体力の增す事、セキの止る事、熱の下る事、動悸の靜る事、等一服毎に着々奏効し驚嘆と感謝の聲愈々高くなりました、迷はず疑はず論より證據一度御体驗下さい。
◎精力增進不可思議なる『マムシ膽』
强烈なる胃痙攣も此の膽を二個一時に服用する時は二三分にて治癒する程の驚く可き卓効があります、マムシ粉と併用すれば一層特効があります。
◇健康体の人も常にマムシ藥を服用すれば心身爽快体力增進す（但し健康体の獨身者は遠慮あられ度し）
効能（心臟、胃腸、性力欠乏、食慾不進、神經衰弱、弱冷、性癖人病、腎臟、体力の衰てる人）
試驗明書　藥　無代進呈（東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所）
平町五丁目二二（金光堂時計店裏）
代理販賣店　井内

アンキローム……1圓
（十二指腸虫病驅除必滅錠劑）
絛滅（絶食の必要なし）……1圓30錢
（さなだむしおろし）
平町二丁目
堀藥局
電326番
平簡易保險相談所指定藥局

美味百パーセントのうなぎ料理……
大蒲燒　一人前四十錢　二人前七十錢
細井　二十錢
並井　二十五錢
上井　三十五錢
うなぎ丼
……外に……
◇親子井　拾五錢
◇柳川　二十錢
御客本意の勉强振り御試し下さい。
●出前迅速!!
二丁目（佐野屋旅館隣）
日の出・うなぎ食堂
電話六〇九番

夏の御調髮は
是非どうぞ……
明るい感じ清々しく
電氣バリカンの爽快な刈込み
氣持よいシャンプー電氣アイロン
電氣マッサーヂの上品な仕上げ
キット皆樣の御氣に
召すまで御座いませう。
そして
御上品に心を籠めてお刈する當
理髮舗の優秀なる御調髮をゼヒ一
度御試めし下さい。
石崎理髮店
平田町（電話一八八番）

廣告

説明治療書進呈
別府市鶴水園
岩里天然堂製藥所
本店
藥急
優性
個人用
黑赤
送料前金
代金引換
海外九十錢
特約店

石城郡平町古鍛冶町　阿康藥店
同三丁目三八　渡邊イトキモト藥局
福島市荒町　澁谷商店
同置賜町三八　土屋藥舗
同五日町二一　中村印刷所
若松市七日町一　松下藥店
同桑町一丁目　西澤商店
南會津郡田島町　黑川商店
伊達郡保原町　熊良藥店
同深川町　中村順庄堂藥店
相馬郡中村町大町　丸山藥店
同鹿島町八八　木村商店藥品部
西白河郡白河大工町新地通　白井金銀細工店
岩瀨郡須賀川町宮崎町　高松藥舗
同須賀川驛通　救生藥堂

アンキローム……1圓
（十二指腸虫病驅除必滅錠劑）
絛滅（絶食の必要なし）……1圓30錢
（さなだむしおろし）
平町二丁目
堀藥局
電326番
平簡易保險相談所指定藥局

美味百パーセントのうなぎ料理……
大蒲燒　一人前四十錢　二人前七十錢
細井　二十錢
並井　二十五錢
上井　三十五錢
うなぎ丼
……外に……
◇親子井　拾五錢
◇柳川　二十錢
御客本意の勉强振り御試し下さい。
●出前迅速!!
二丁目（佐野屋旅館隣）
日の出・うなぎ食堂
電話六〇九番

夏の御調髮は
是非どうぞ……
明るい感じ清々しく
電氣バリカンの爽快な刈込み
氣持よいシャンプー電氣アイロン
電氣マッサーヂの上品な仕上げ
キット皆樣の御氣に
召すまで御座いませう。
そして
御上品に心を籠めてお刈する當
理髮舗の優秀なる御調髮をゼヒ一
度御試めし下さい。
石崎理髮店
平田町（電話一八八番）

月曜論壇

平町の地下採掘

平町卽今の研究事項に地下採掘問題がある、卽ち之を行ふ事によつて生ずる保安上の影響如何が最大の論點であるが其の是非に就ては之種の問題に關して殆ど何等の科學的敎養を有せざるべき三十町議の概念的常識的判斷以外差し當り何物も無く、該問題に對して其の可否を縱横上下する事は所詮所謂群盲象を評するの範疇を出でず隨つて其の論議は偶然の暗合なれば知らず、少くとも相當の根據を有する見解として其の正鵠を覓むる事は出來ない。由來地下採掘の地殼に及ぼす變動は其の深度二千尺以上なる時に於て安全である。

とは吾人の知れる範圍に於ける通念であるが、社會の通念乃至類例は竟に所謂大數觀念によつて比較的是認せらるる所の通念乃至類例であつて、絶對的に之を肯定さるるものでなく往々甲乙必ずしも繩墨を以て同一視する事の出來ぬ場合ある以上、平町の問題は平町の問題として精細に之を調査研究せねばならぬ筈なるに拘らず、彼の一部町民をして半ば物見遊山的旅行なるかに誤解せしめたる場合無きに非ず他の視察見學なれば吾人曾て之を耳にせざるに非るも該問題に對しては專門家未だ專門技術家の鑑定或は事情を同じうする他方面の視察研究其他少くとも之を町會に附議せんとする以前に於て何等かの形式により之れが考覈を拂つた事實あるを知らぬ、而も之種の問題は其の是非何れに在るも緊つて町百年の禍福を支配する最大重要な事項であつて其の間の調査研究に方つては彌が上にも愼重なる態度を持し苟も寸毫の遺漏なきを期すべきであつて萬一僅く重要性を帶べる該問題に對し女々しい或る種の感情等により其の去就を決する町議ありとせば蓋し町の禍福を顧慮せざる町民共同の敵として向背は何れに在るも吾人は斷乎として之を排擊せねばならない今や該問題の可否に就て吾人が平町會の態度を決せられんとするに方り吾々町民は極めて均衡を得たる頭腦の持主たる三十町議の明識と熱誠とに信頼し所謂明鏡止水一點の曇り無き至公至平を以て茲しからんとしつつある最大原因は勿論經濟界の不況に基く各種農産物價の低落を第一に擧げねばならぬが其の助因として不況の黑旋風が驅つて以て農閑季に從來する事業を根本から奪取し農民をして農耕以外の收入を絶無ならしめ衷心慶福措く能はざる處である、卽ち農村對策必要、不況打開また叫ばざるべからざる刻下の緊急問題なるに附近農民を潤す事は時節柄所謂敏鮒の急問題を解決するに最も適切可能なる施設であつて彼此該事業の實現は灌漑關係民の將來に對し最大の幸福の礎石たると同時に附近農民當面の急場を救ふ起死回生的の喜びを結果するものとして地方の爲